

戦略2 えべつの将来を創る産業活性化

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 経済部 関係部局 総務部、健康福祉部

めざす姿

- 農業・商業・工業等の連携により産業が活性化し、まちの活力が高まります。
- 市内での就労人口や交流人口が増加し、市内がにぎわいと活気に満ちています。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

※（ ）は他戦略との重複分

名 称	実績				予算額			
	H26年度		H27年度		H28年度			千円
		千円		千円	当初	H27補正	計	
2 A 産業間連携等による産業の活性化	28,006	千円	25,678	千円	24,481	6,973	31,454	千円
2 B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開	10,811	千円	34,617	千円	81,414	4,440	85,854	千円
2 C 雇用の創出と人材育成の支援	4,110 (28,552)	千円	49,910 (702,592)	千円	2,913 (246,979)	47,195	50,108 (246,979)	千円
2 D 地域資源の活用による観光の振興	4,559	千円	4,902	千円	7,998	0	7,998	千円
計	47,486 (28,552)	千円	115,107 (702,592)	千円	116,806 (246,979)	58,608	175,414 (246,979)	千円

※（ ）は他戦略との重複分
※H27年度はH26年度補正前倒し含む

戦略プロジェクト2 A 産業間連携等による産業の活性化

【プロジェクトの目標】

それぞれの産業や企業単独ではなく、江別市の特徴的な取組である産学官連携・農商工連携を強化し、多様な主体が連携して地域に根差した産業集積をはかるとともに、大学・研究機関に恵まれた江別市ならではの知的資源や学生の力を活かした産業の活性化をめざします。

◆成果指標2 A-1 (産学官・産業間連携の) プロジェクトによる新アイテム開発取組数(累計)(単位:件)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
0	2	3				5

■成果動向(評価)

個別計画については計画通り進捗しています。経済ネットワークによる異業種間連携強化を進めるとともに、それぞれの産業や企業単独ではなく、積極的な情報交換と人的交流を促進する場を継続的に確保したことで、産学官連携に基づく交流や共同研究から新たなアイテムの開発等が行われました。新商品開発モデル事業等の実施により、成果指標2 A-1の産学官連携のプロジェクトによる新アイテム開発取組数が増加し、これまで3件のアイテム開発につながっています。

■改善案(次年度へ向けた展開・課題・推進方向性)

新アイテムの開発は、異業種間での交流の繰り返しの中から時間をかけて生まれてくるものであり、今後も経済ネットワークなどの異業種交流・産業間連携を継続することにより、新しいアイテムの開発に向けた働きかけを続けることで、新規産業の創出や既存企業の高度化などを図り、新製品の開発や雇用拡大などにつなげ地域経済の活性化を目指します。

◇推進プログラム2A-① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援

<課題>

○市内にある大学・研究機関のほか、多様な事業者の有利性を活かす

<取組の概要>

- ・市内の経済活動や産業の市民や企業へのPRによる連携のきっかけ作り
- ・農商工、産業間連携等による新製品開発・販路開拓の支援により産業を活性化
- ・地域産品開発プロジェクトの立ち上げ、情報提供
- ・研究成果発表の機会の増加による異業種間連携強化（新製品開発に係るPR、試食会の支援等）

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
経済活動広報事業	広報した産業・企業数	4 件	6 件	12 件	
	事業費	900 千円	900 千円	900 千円	
商工業活性化事業	補助金の活用件数	24 件	21 件	24 件	
	事業費	4,522 千円	2,971 千円	9,320 千円	
江別経済ネットワーク事業	例会参加者数	139 人	306 人	150 人	
	事業費	34 千円	204 千円	679 千円	

◇推進プログラム2A-② マーケティングの視点に基づいた産業振興

<課題>

○商品の高付加価値化や販路拡大のノウハウを持つ事業者の育成

<取組の概要>

- ・商談会等による販路拡大のほか、道外、海外への出店に対する一体的な支援
- ・江別産農畜産物を使った加工品の開発
- ・成果発表の機会と協賛企業の掘り起し
- ・製品試作企業を掘り起し、商品化コーディネート、マーケティング調査

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業	商談会・催事出展企業数	24 社	30 社	30 社	H28事業費をH27補正前倒し 473 千円
	事業費	182 千円	1,785 千円	0 千円	
商工業活性化事業 【重複】2A-①	補助金の活用件数	24 件	21 件	24 件	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
江別経済ネットワーク事業 【重複】2A-①	例会参加者数	139 人	306 人	150 人	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
総合特区推進事業 【重複】2A-④	食関連企業の新增設数	1 社	1 社	2 社	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2A-③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援

<課題>

- 地域の特性を活かした商店街の魅力づくり
- 高齢者や学生、地域住民など多様な主体や様々な世代の交流による商店街の活性化

<取組の概要>

- ・学生や高齢者など多様なコミュニティ活動主体の参入促進（参入促進への機運醸成に向けた、支援制度や成功事例を紹介するセミナーの開催、参入希望者への手厚い相談・支援の実施）
- ・魅力あるテナントの誘致など商店街活性化に向けた取組を支援
（商店街の要請により出店したテナントの出店経費に対する補助、地域課題解決のためのコーディネーター配置）
- ・商店街の活性化を目的としたイベント等への支援

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業	相談件数	112 件	137 件	70 件	
	誘致件数	0 件	0 件	1 件	
	事業費	3,980 千円	4,944 千円	7,308 千円	
商店街参入促進事業	セミナー参加者数	47 人	50 人	50 人	
	サポート事業実施数	7 件	4 件	2 件	
	事業費	530 千円	337 千円	750 千円	
商工業活性化事業 【重複】2A-①	補助金の活用件数	24 件	21 件	24 件	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2A-④ 大学・研究機関との共同研究の推進

<課題>

- ネットワークの活力向上
- 連携強化の仕組みづくり

<取組の概要>

- ・連携強化と自立的な運営に向けた仕組みづくり
- ・市内中小企業等における食の機能性に係る研究評価の成果の活用など研究成果の橋渡しに向けた支援
- ・産学連携による新商品開発に係るモデル的取組の支援（新商品開発に係るモデル事業の実施）
- ・既存補助金の利活用による産学連携の取組支援

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
総合特区推進事業	食関連企業の新增設数	1 社	1 社	2 社	H28事業費の一部をH27補正前倒し
	事業費	17,858 千円	14,537 千円	5,524 千円	

【プロジェクトの目標】

江別市の基幹産業の一つである農業が、第2次産業・第3次産業と連携して実施する江別産農畜産物の高付加価値化の取組や立地環境を活かした食関連産業の集積を図るとともに、江別産の「食」について市内・道内はもとより道外・海外といった広域的な市場ニーズに合わせた販路拡大への取組などを支援します。

◆成果指標2B-1 えべつの農産物加工品認定数（累計）（単位：件）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
0	5	7				22

■成果動向（評価）

農畜産物加工品の主な原材料を江別産とすることなどを条件とした認証制度が、平成26年度からスタートしており、初年度は、ケチャップ、ジャム、ジュースなど5件が認定され、平成27年度は、新たに2件が追加認定されています。農業者自らが農業の閑散期などを利用して商品開発や製造等を行うため、単年度に多くの件数増は見込めませんが、次年度以降も着実に件数を増やしていくことで、えべつの農産物加工品のPR及びブランド力の向上に寄与するものと考えます。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

認定を受けた安全安心な地元農畜産物加工品の認知度を高め、販売促進や今後の認定件数の増を図るため、直売所やイベントでのPR等を推進していきます。また、平成28年度からは、農畜産物の加工新商品開発等に対して補助を実施するなど、新たな商品開発や既存商品のレベルアップを支援します。

◇推進プログラム2B-① 「食」の付加価値を高める産業の集積

<課題>

- 企業立地を推進するための江別市の魅力付け
- 企業間連携を図るための企業情報の収集・PR

<取組の概要>

- ・企業ガイド等の作成、更新などによる市内企業のPRと企業間連携の促進
（工業団地協同組合等との連携）
- ・フード特区制度や企業立地にかかる補助制度の運用による食関連企業等の立地促進
（H26 江別市企業立地等の促進に関する条例施行）

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
企業誘致推進事業	立地企業・事業所数	5 社	1 社	5 社	
	事業費	2,262 千円	1,740 千円	1,693 千円	
企業立地等補助金	補助金認定件数（累計）	22 件	24 件	27 件	
	事業費	5,180 千円	28,795 千円	79,721 千円	

◇推進プログラム2B-② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援

<課題>

- 市内企業の体力や海外戦略の段階に応じた、海外展開支援
- ブランド品を維持・拡大するための支援
- 市内外への継続的なPR
- 需要を伸ばすための支援
- 加工品開発のノウハウ等支援
- 農畜産物の高付加価値化
- 販路拡大等の支援
- 需要を伸ばすための支援

<取組の概要>

- ・加工品製造生産者による研修会開催支援や指導機関の情報提供
- ・地域のブランド品表示等の支援やPR
(えべつかあさんブランド認証制度運用)
- ・商談会への出展等の支援
- ・加工品フェア、消費者と生産者の相互理解の支援
- ・原材料安定供給のための生産者支援
- ・広報等メディアの活用等によるPR体系の構築、生産者・実需者と意見交換
- ・江別産農畜産物(小麦・プロッコリーなど)を活用した商品化の支援
- ・意欲のある市内企業に対する関係機関と連携した、低リスクによる海外販路開拓支援
- ・輸出補助金

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
都市と農村交流事業	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	485,790 人	528,866 人	486,000 人	H28事業費を H27補正前倒し
	イベント参加者の関心度	100 %	90 %	80 %	
	事業費	1,069 千円	992 千円	0 千円	1,800 千円
江別産農畜産物ブランディング事業	特産品の認知個数	2 品目	2 品目	2 品目	H28事業費は H27補正前倒し
	事業費	2,300 千円	3,090 千円	0 千円	
総合特区推進事業 【重複】2A-④	食関連企業の新増設数	1 社	1 社	2 社	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

戦略プロジェクト2C 雇用の創出と人材育成の支援

【プロジェクトの目標】

「働きたいまち・えべつ」・「企業が立地したいまち・えべつ」をめざして、企業にとって魅力的な立地環境を整備するなど、企業立地の促進による雇用創出と、企業が必要とする労働力を確保するための就労支援・人材育成に一体的に取り組めます。

◆成果指標2C-1 市内企業へ就職した市内の新卒者数（高校・大学）（累計 単位：人）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
45	55	111				250

■成果動向（評価）

市内には高校5校、大学4校、短大1校があり、その卒業生が地元就職することは市内産業の発展や人口減少への対策として重要です。平成27年度は前年に引き続き、高校生に対する市内企業の情報提供に努めた結果、市内企業へ就職した高校・大学の新卒者は56人となり、目標の年間50人を上回りました。また、国の緊急経済対策（地方創生先行型）を利用した有給インターンシップ事業による大学生の派遣を本格的に開始しており、参加学生が卒業年次に達する時点で、成果の拡大が期待できます。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

平成28年度においても、高校生に対しては就職支援事業を引き続き実施し、市内企業への就職者の増加を図ります。大学生の有給インターンシップでは、研修拠点（アルバシップえべつ）を活用した社会人交流会などを開催し、事業に参加する意義を大学内にPRすることを通して、質の高い学生の確保を目指します。

◇推進プログラム2C-① 企業誘致のための条件整備

<課題>

- 新たな補助制度の周知
- 工業用地の確保
- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応

<取組の概要>

- ・企業立地の補助制度のPRによる企業立地の促進
- ・企業誘致のための新たな工業用地の確保
- ・待機児童解消の推進（子ども・子育て支援事業計画に基づく保育体制の整備）
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画推進（白樺・若草乳児統合園（よつば保育園）の建設）

事務事業	指標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備考
企業立地等補助金 【重複】2B-①	補助金認定件数（累計）	22件	24件	27件	
	事業費	—千円	—千円	—千円	
待機児童解消対策事業 【重複】3A-①	入所できた児童数	13人	76人	97人	
	事業費	(6,475)千円	(113,219)千円	(165,706)千円	
白樺・若草乳児統合園建設 整備事業 【重複】3A-①	入所児童数	116人	116人	140人	H28事業名変更 「よつば保育園 建設整備事業」
	入所率	97%	97%	100%	
	事業費	(22,077)千円	(589,373)千円	(81,273)千円	

◇推進プログラム2C-② 潜在労働力の掘り起こし（就労支援）

<課題>

- 市内企業の求人に対する十分な労働力の確保
- 子育て等をしながら働きたい女性の課題解消

<取組の概要>

- ・求人企業による説明会や就職意欲を喚起するセミナーを併せたイベントの開催
- ・子育て支援施設に隣接した就職相談窓口を開設し、就職に向けた相談や求人情報の提供等により女性の就職を促進
- ・就職に向けた座学研修や職場実習実施による実践的な職務能力を備えた人材を育成し、就職を支援
- ・待機児童解消の推進（子ども・子育て支援事業計画に基づく保育体制の整備）
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画の推進（白樺・若草乳児統合園（よつば保育園）の建設）

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
働きたい女性のための就職支援事業	セミナー・イベント参加者数	130 人	110 人	100 人	H28事業費は H27補正前倒し 30,407 千円
	就職者数	0 人	45 人	50 人	
	事業費	1,382 千円	25,045 千円	0 千円	
待機児童解消対策事業 【重複】3A-①	入所できた児童数	13 人	76 人	97 人	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
白樺・若草乳児統合園建設 整備事業 【重複】3A-①	入所児童数	116 人	116 人	140 人	H28事業名変更 「よつば保育園建設整備事業」
	入所率	97 %	97 %	100 %	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2C-③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援

<課題>

- 市内大学・高校等から市内企業へ就職する者の増加
- 市や市内企業等で活躍する人材の増加
- 大学生を市内での就業につなげる実践的な仕組みの整備

<取組の概要>

- ・大学生対象のインターンシップ推進等による学生と企業両者への支援
- ・学内説明会は大学との調整がつかず一旦休止
- ・インターンシップ(就業体験)や面接指導等による市内高校生の就職支援
- ・大学生の人材育成を目的とする市役所での長期インターンシップ(実学教育)の実施
- ・インターンシップの効果検証と商工会議所、民間企業等への情報提供、啓発
- ・資格取得の支援や職場実習実施による介護分野の人材を育成し就職を支援

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
有給インターンシップ等地域就職支援事業	有給インターンシップ参加学生数	3人	40人	40人	H28事業費はH27補正前倒し 13,992千円
	学内企業説明会参加企業数	4社	0社	5社	
	事業費	2千円	11,364千円	0千円	
高校生就職支援事業	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	96%	91%	100%	
	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	85%	95%	100%	
	事業費	2,613千円	2,500千円	2,500千円	
介護人材育成事業	資格取得講習会修了者数	—	9人	12人	H28事業費は、 H27補正前倒し 2,796千円
	介護事業所就職者数	—	8人	10人	
	事業費	—千円	10,894千円	0千円	
市内大学等インターンシップ事業	インターンシップ参加学生数	9人	10人	10人	
	インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	100%	100%	100%	
	事業費	113千円	107千円	413千円	

戦略プロジェクト2D 地域資源の活用による観光の振興

【プロジェクトの目標】

石狩川や野幌森林公園などの豊かな自然、地場産品、公共施設や歴史的建造物など、既存の地域資源を再評価し、観光資源として有効活用するとともに、大都市である札幌市に隣接しているという地の利を最大限に活かした、江別市ならではの観光を推進します。

◆成果指標2D-1 主要観光施設の利用者数(単位:人)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
126,000	147,407	239,800				132,600

■成果動向(評価)

個別事業においては、予定どおり進捗しており、主要観光施設の観光入込客数の増加は、江別市ならではの地域資源を観光資源としてパッケージ化しPRしてきたことに加え、新たな観光施設(アースドリーム)がオープンしたことも要因であります。※H26の主要観光施設は5施設、H27よりアースドリーム(58,200人)が加わり6施設の合計数であり、アースドリームを除いた5施設でも181,600人と増加傾向となっております。

■改善案(次年度へ向けた展開・課題・推進方向性)

新たに主要な観光施設となる旧ヒダ工場等、地域資源を最大限活用した魅力発信に取り組むことより、観光誘客の更なる拡大を図るとともに、江別アンテナショップGET'Sの観光案内機能を発揮させながら、市内滞在時間の長期化や観光消費の増加につながる周遊促進に取り組んでいきます。

◇推進プログラム2D-① 地域資源の観光への有効活用

- 市外における「江別」の認知度の向上
- 大都市札幌に隣接している優位性を十分に活かす
- 市外への継続的なPR

<取組の概要>

- ・札幌に近接する地の利を活かし、れんが・食・体験など多様な資源を観光プランとして、観光PR及び周遊促進
- ・札幌圏を対象とした農業体験バスツアーの実施

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
地域発見魅力発信事業	主要観光施設観光入込客数	147,407 人	239,800 人	240,000 人	
	事業費	2,852 千円	3,118 千円	5,351 千円	
都市と農村交流事業 【重複】2B-②	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	485,790 人	528,866 人	486,000 人	
	イベント参加者の関心度	100 %	90 %	80 %	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2D-② 観光資源のパッケージ化

<課題>

- 札幌近隣において主流の都市型観光の促進
- 個別の観光情報の提供

<取組の概要>

- ・ドライブルートの設定やウォーキングマップの作成等、手段別、目的別に多様な観光ルートを提案
- ・観光パンフレットの作成及び市内・札幌を中心とした配布等、ターゲットを絞った観光PR

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
江別観光協会補助金	観光協会事業件数	7 件	9 件	7 件	
	事業費	1,707 千円	1,784 千円	2,647 千円	
地域発見魅力発信事業 【重複】2D-①	主要観光施設観光入込客数	147,407 人	239,800 人	240,000 人	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	